神山っ子の力（学力と学習・生活）

令和８年度全国学力・学習状況調査結果より
2026 年４月 23 日　６年生実施



国　語

◎良いところ

・話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができています。
・目的に応じて文章から必要な情報を見付ける力がついています。
・文章を読んで、情報と情報を関連付けたり、図で表したりする仕方を理解できています。

▲伸ばしたいところ

・文章から引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があります。

自分の考えを書く活動では、「なぜそう考えたのか」「文章中のどの部分が根拠になるのか」を丁寧に確認し、根拠と自分の考えを結び付けて書くことを意識させます。また、根拠の示し方や分かりやすい表現になっているかに着目しながら、文章を友達と読み合うことを通して、文や文章を整える活動を取り入れ、相手に伝わる文章を書く力を伸ばしていきます。

算　数

◎良いところ

・小数のしくみを理解し、条件に合う小数をつくることができています。
・立方体や直方体の体積の計算による求め方を理解しています。

▲伸ばしたいところ

・体積の意味について理解することに課題があります。

「体積」の学習では、計算による求め方だけでなく、体積そのものの意味を理解することも大切です。そこで、面積などと同じように、単位となる大きさを決め、そのいくつ分として体積を数値化して捉えることを丁寧に学習します。また、立体の形を変えても体積は変わらないことを理解できるよう、ブロックなどの具体物を使って、立体を分解したり組み替えたりしながら体積を比べる活動を取り入れていきます。

・二次元の表から、条件に合う数を読み取る力に課題が見られます。

表のどの項目や数に着目すればよいのかを確認しながら、複数の条件を整理して必要な数値を読み取る活動を繰り返し行います。また、実際の場面を表に整理したり、表から必要な情報を読み取って問題を解決したりする活動を取り入れ、表を活用して考える経験を積み重ねていきます。

学習・生活の様子

◇よい傾向　　◆心配な傾向

《家庭や地域に関すること》

◇学校の勉強のことについて、親や家族と話している児童が多くいます。

《学校に関すること》

◇多くの児童が学校に行くのは楽しいと思っています。

◇タブレット端末を日頃から活用し、自分のペースに合わせて学習を進めることができる児童が多くいます。

◆算数や外国語の学習に対して苦手意識をもっている児童もおり、「得意」「好き」と感じている子が他の教科に比べてやや少ない傾向にあります。

今後は、児童の興味・関心を引き出す課題設定を工夫し、主体的な学びを促します。さらに、一人一人の理解度や進度に応じた個別最適な学びを実現する支援を充実させ、「分かった」「できた」という達成感を味わえる授業づくりに努めていきます。

《自分自身に関すること》

◇人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多くいます。

◇いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている児童が多くいます。

◇困りごとや心配ごとがある時に、先生や学校にいる大人にいつも相談できている児童が多くいます。

◆自分にはよいところがあると感じている児童の割合が低い傾向にあります。

学校では、これまで取り組んできたポジティブ教育を継続し、授業や縦割り班活動、学校行事などを通して、自分の強みを生かす場面や、互いのよさを認め合う機会を大切にしていきます。また、自分自身の成長や頑張りを振り返る時間を設け、自分のよさに気付くことができるようにします。こうした活動を通して、自分のよさや成長を実感し、自信をもって学校生活を送れるよう取り組んでいきます。